

新岩見沢市立総合病院建設基本構想（素案）に対する意見募集（パブリックコメント）結果

人	件	意見・提案・感想等	市の考え方
1	1	<p>高齢化の進行と高齢者ドライバーのリスクの増大から、今以上にバスの利用が増えてゆくと思われます。そこで、病院を中心としたバス路線や、ハブ&スポークの導入など病院と公共交通を組み合わせた構想となるようにお願いします。</p>	<p>●外来・入院患者満足度調査の結果、約7割の方が自動車で来院しているという状況ですが、高齢化の進展に伴い今後は公共交通機関を利用した来院数は増加していくものと予測されます。 そのため、建設候補地を選定するにあたっては、来院される方にとって交通アクセスの良い利便性も評価項目の一つとしているところですので、いただいたご意見も含めて、基本計画策定の中で検討してまいります。</p>
2	2	<p>新市立病院建設候補地の件 候補地：競馬場跡地 理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市有地である。 ・敷地が広く建屋と駐車場を広く取れる。 ・日の出セイコーマート前に橋を建設中で、完成後は日の出バス停からそのまま路線を延伸するだけでバスが競馬場跡地にアクセスできる。 更にイオン無料バスも延伸されれば、入院患者や家族の利便性が向上する。 又、バスのUターンも容易になる。 ・岩見沢SAに近く、将来スマートインターチェンジが出来れば近郊市からの救急搬送や一般のアクセスが時短になる。 更に高速バス停が出来れば近郊市からバスでの来院も容易になる。 ・ヘリポートが出来た場合でも、市街地に比べて騒音の問題が少なく高台にあるので上空からも建物が見えやすい。 ・敷地が広いので、患者家族用の宿泊施設を建設できる。 ・将来大型の治療装置等で病院増築になっても敷地に余裕がある。 ・除雪時の雪置き場に余裕がある。 ・消防本署から近い。 ・住宅地から離れているので救急車サイレンの騒音問題も少ない。 ・12号線へのアクセスも良い。 ・三笠栗山線(道道30)へのアクセスも良い。 ・郊外なので騒音が少なく、空気も良い。 ・周辺住宅への日照問題が発生しない。 ・地盤が固いので建設に有利で振動も少ないので精密機器にも有利。 ・周辺にコンビニや院外薬局、託児所等の建設で敷地に余裕がある。 ・東山周辺はコンビニやドラッグストアが無いので活性化に繋がる。 ・ボイラー燃料給油用大型のタンクローリーが搬入し易い。 ・敷地が広いので地下タンク貯蔵所ではなく屋外タンク貯蔵所とし露出配管にする事で毎年の漏洩試験をせずに済み、万一漏洩しても発見し易く修理もし易い。 ・郊外なので、伝染病等の隔離病棟が有っても周辺住民への不安が少ない。 ・現在は、病院前に高速バスの停留所があり、病院利用者以外の駐車も有ると思われるが、郊外ではその心配がない。 ・いわびかが近くなので、日々発生する大量のゴミ処理にも有利。 ・大規模災害が有った場合でも、自衛隊岩見沢駐屯地から近く、自衛隊ヘリが着陸する場所を確保しやすい。 ・高台の為、風力発電や太陽光発電の立地に適している。 	<p>●建設候補地については様々な角度から検討する必要があるため、必要面積、防災と安全性、利便性など基本構想（素案）で示した7点を評価項目として複数の候補地を選定し、基本計画の中で検討・評価を行うこととしております。 競馬場跡地は面積が約50haと、大型の施設を建設するには十分な広さを有しているほか、いただいたご意見も含めて、今後の建設候補地検討の参考とさせていただきます。</p>

人	件	意見・提案・感想等	市の考え方
3	3	<p>南空知の拠点病院として等々の、視点は私には難しい為、一市民としての意見を述べさせていただきます。</p> <p>どんな病院の建物の老朽化も、必ずいつかくるもので今回の新建設じたいはいいと考えます。ただ、ハード面よりソフト面、つまり医者の充実を希望します。</p> <p>一昨年、家族に腰痛が出現し岩見沢市内、各所の病院をまわりました。画像と痛みの度合いが相関しないと言われ、保存療法での対応をいわれましたが、堪えられず、岩見沢市内(市立病院も含む)、江別市内の病院にいきましたが改善されず。地元の病院で治療と思っていたのですが、結局札幌の病院に行くことにしました。</p> <p>私がおの時思ったことが、地元病院の安心感がほしいなあと思いました。</p> <p>現代は、病院の名前だけで選ぶのではなく、勤務している医者を探して、治療をお願いする時代になりつつあると私は感じています。しかし高齢の方は「市立病院にいけば～」 「労災病院にいったときは～」というくくりで、受診される方が多いと思います。病院が新しくなったことで、前よりも良くなった！と感じるには、医者や看護師等、医療従事者チームが充実するから、良くなったと感じるのではと、思います。</p> <p>世の中には色々な病気があり、治癒するもの、進行性のものなど、必ず治るものばかりではありません。でも患者さんの根治しづらい症状(疼痛や目眩や頭痛等々、数えきれないが)の原因の追及をし、専門の科の壁をこえた全体的な視点をもった、総合医のような医者がいてほしいと思っています。税金を払っても、納得できる使われ方であれば、住民は離れていかないのではと考えます。</p> <p>どうか、今現在、医療現場で働いている職員からの意見を丁寧にきいていただきたいと思います。</p>	<p>●ご意見にありました総合医の設置については、診療科ごとに高度な専門性を要することから実現するにはハードルが高いと考えますが、現在、市立総合病院では医師、看護師、医療技術など多職種のスタッフが連携・協力し、専門分野の経験や知識・技術を結集し治療にあたる「チーム医療」を実施しています。</p> <p>新病院が目指す病院像においても引き続き「チーム医療」を推進することにより、医療体制の充実を目指していきたいと考えております。</p> <p>また、基本計画の策定にあたっては、医療現場で働いているスタッフの意見も反映させながら取り組んでいくこととしています。</p>
4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・現在 内科と脳外科を予約で利用しております。 ・現場は栗沢地区からもバスで直接行けるので高齢者も喜んでます。 ・市立総合病院の位置関係から見ると利根別川の橋を広くすると本館裏からも車が出入りできるのでは。 	<p>●建設候補地の選定は必要面積や防災と安全性、利便性などの7つを評価項目として複数の候補地を選定し、基本計画の中で評価・検討を行うこととしておりますが、現在地において駐車場や施設の狭あい化という課題を解決するためには敷地の拡張が必要であり、用地購入費等のコストがかかり事業期間が長期化すること、軟弱地盤のため高度医療機器などの過重施設設備の建設・設置に難があることなど、多くの課題を有していることから、現在地での建て替えは厳しいものと考えております。</p>
5	5	<ul style="list-style-type: none"> ・新病院の建設地について 築年数の浅い新棟の有効活用という観点から、新病院は現在地で改築すべきです。 敷地および交通の面では、駐車場の一部を立体駐車場にする、7条通り側や西10丁目通り側に出入口を増設して車を分散させる、敷地内に路線バスを直接乗り入れさせて公共交通での来院を促すなど、工夫をすれば移転は不要だと思います。 また洪水等の防災の面でも、盛り土を施したり、万一浸水しても機能停止しないよう重要設備を上層階に固めたりするなど、現在地のままでも強靭性を高める手法は十分にあると思います。 	<p>●ご意見にありました立体駐車場の建設や盛り土による防災対策などにより、一定の課題解決や施設の強靭化が図られるものと考えますが、現在地における施設の狭あい化や汎用性の低さなどの様々な課題を総合的に解消し、地域センター病院として南空知医療圏の医療提供体制を引き続き支えていくためには、現在地における建替えは厳しいものと考えております。</p>
	6	<ul style="list-style-type: none"> ・救急医療について 新病院の三次救急は、札幌圏の医療機関と連携するだけでなく、ある程度は自力で対応できるようにしてほしいです。（具体的には、砂川市立や名寄市立のような独立した「救急科」および「救命救急センター」の設置） 	<p>●三次救急は専門性が高い救急医療や先進的技術が必要とする医療等を提供しており、高度医療機器などの設備やより専門性が高いスタッフの充実も求められることから、引き続き札幌圏との機能分担による連携を強化してまいりたいと考えております。</p>

人	件	意見・提案・感想等	市の考え方
6	7 8 9	<p>○病院建設地について ・現在地を希望します。 理由 通院等を考えるとなるべく人口の多い中心地に建てるのが望ましい 通院の人は、高齢者が多いので、なるべく距離が近い程よい</p> <p>○将来のことを考え、余裕をもった広さを確保する ・医療機器の新設等のときのことを考えて</p> <p>○空知の中核病院として ・美唄・三笠はもとより、もっと広く、空知の中心としての病院の役割をになえるよう望みます。</p>	<p>●現在地において駐車場や施設の狭あい化という課題を解決するためには敷地の拡張が必要であり、用地購入費等のコストがかかり事業期間が長期化すること、軟弱地盤のため高度医療機器などの過重施設設備の建設・設置に難があることなど、多くの課題を有していることから、現在地での建て替えは厳しいものと考えております。</p> <p>●建設候補地の選定にあたっては、将来の医療技術の進歩、医療政策の動向、患者ニーズ等の変化などにも対応できる十分な必要面積を有することも評価項目の一つとしていただいておりますので、いただいたご意見も踏まえ建設候補地検討の参考とさせていただきます。</p> <p>●一般の入院に係る医療を提供する二次医療圏は、地理的条件や日常生活の充足状態、交通事情等を考慮して、入院に係る医療を提供する体制の確保を図ることが相当である区域を単位として国により認定されています。 北海道では21の二次医療圏域があり、空知管内では南空知、中空知、北空知の3つの二次医療圏ごとに圏域の医療提供体制を推進しているところです。そのため、市立総合病院では引き続き南空知医療圏における地域センター病院としての役割をしっかりと担っていくことが重要であると考えております。</p>
7	10 11 12 13	<p>80年の人生で身体に5回のメスを入れた身としての立場から</p> <p>1 市立病院の建替は必須 建設場所は交通至便（公共交通機関との連絡）且つ十分な駐車スペース確保の要がある。</p> <p>2 施設と医療スタッフの充実 極く当然だが特にこのところ各地で勤務医の開業医への転進が見られる。病院の暗い狭いからの開放と医療スタッフの更なる充実を求めたい。器だけが立派になっても意味がない。</p> <p>3 栗沢病院の役割 若干意味は異なるが現状は終末医療機関としての認知度が高いきらいがある。かかりつけ医、ホームドクターとしての役割も期待されていると思うがそれに応える人材投入が必要。岩見沢の均衡ある発展には栗沢病院が不可欠な存在といえる。</p> <p>4 市立病院の立ち位置 岩見沢は昔からお寺と病院の多いところといわれてきたが正に「揺り籠から墓場まで」だ。南空知広域圏の中で市立病院の立ち位置はどういうことなのか、明快な解を得たい。</p>	<p>●建設候補地の選定にあたっては、交通アクセスの良さなどの利便性、十分な駐車スペースが確保できる必要面積も評価項目となっておりますので、今後、基本計画策定の中で検討してまいります。</p> <p>●新病院が目指す新病院のコンセプトを実現するためには、ご意見にありますとおりハード面の整備のみならず、医療スタッフの充実やサービスの向上なども重要な要素であると考えております。</p> <p>●市立栗沢病院は、栗沢地域唯一の病院として地域住民の「かかりつけ病院」としての役割を担っているだけでなく、85床の療養病床を有し慢性期治療の必要な患者の受入を担っていますが、施設の老朽化に加えて、南空知医療圏における慢性期病床が必要病床数に対して過剰になることが見込まれていることなどを踏まえ、市立総合病院との再編・ネットワーク化も視野に入れ、栗沢地域に必要とされる機能、適正な規模などの検討を進めていきます。</p> <p>●市立総合病院はこれまでも急性期医療、救急医療の提供のみならず、災害医療や小児・周産期医療においても南空知医療圏における中心的な役割を担ってきました。 今後、人口減少が進展する中で南空知医療圏における市立総合病院が担う役割はますます重要になってくることが見込まれるため、引き続き南空知医療圏の地域センター病院にふさわしい医療施設の建設が求められていると考えています。</p>

※「意見・提案・感想等」については、原則として原文のまま掲載しています（明らかな誤字等と判断されるものを除く。）。

新岩見沢市立総合病院建設基本構想（素案）に対する意見募集（パブリックコメント）結果

人	件	意見・提案・感想等	市の考え方
8	14	<p>1. 現在の岩見沢市立病院は経年による施設設備の老朽化、汎用性の低さ、療養環境やサービスの機能の低下など様々な課題を乗り越えるため南空知の総合病院として位置付を明確にしてほしい。</p> <p>15 2. 立地条件は交通アクセスの利便性を最重要と考え超高齢社会における市の中心地（現在の場所、又は近隣）交通機関の利便性を重点に市内各地から病院へはバス1本で到着出来ること</p> <p>16 3. 質の高い急性期医療の提供を維持・強化するとともに、南空知医療圏域住民の生活的価値を実現する地域包括ケアの拠点ともなる病院として位置付してほしい ①～⑩が最も重要</p>	<p>●市立総合病院はこれまでも急性期医療、救急医療の提供のみならず、災害医療や小児・周産期医療においても南空知医療圏における中心的な役割を担ってきました。 今後、人口減少が進展する中で南空知医療圏における市立総合病院が担う役割はますます重要になってくることが見込まれるため、引き続き南空知医療圏の地域センター病院にふさわしい医療施設の建設が求められていると考えています。</p> <p>●建設候補地の選定にあたっては、交通アクセスなどの利便性を評価項目の一つとしているため、いただいたご意見も参考として今後検討を進めてまいります。</p> <p>●新病院の基本コンセプト及びめざす病院像の実現に向け、今後検討を進めてまいります。</p>
9	17	<p>岩見沢市では婦人科系の病気や不妊治療のための通院は市立病院かレディースクリニックしかありませんし、小児科も重たい病気の場合は市立病院にかかるしかないと思います。 新しい病院像では婦人科や小児科のことが書かれていませんが、出産から子育てまで安心して暮らすことができるまちには、必ず婦人科や小児科が必要ではないでしょうか。</p>	<p>●新病院のめざす病院像は、ハード・ソフト両面にわたる新病院のめざす姿を10項目に絞ったものであり、これまで担ってきた小児・周産期医療は引き続き南空知医療圏の中核病院として取り組んでいくというスタンスに変わりはありません。 小児・周産期医療も新病院が担う重要な医療であることから、新病院のめざす病院像については、いただいたご意見も参考として検討させていただきます。</p>
10	18	<p>誰のための病院なのか、そこで働く医師や看護師や病院スタッフのための病院ではない、患者や市民、また南空知医療圏域住民の生活的価値の実現を求める人達のための病院である事が大前提だ。 2020年2月の岩見沢市の高齢化率35.74%、2030年推計では高齢化率が40%を超える。この様な中で求められるのは交通便利地が第一の要件でこれに勝る事柄はない。いくら最新鋭の医療機器を備えても山の上などに立てたなら誰も行かなくなる。</p> <p>19 本館は駐車場128台に移設高層化する。 市民健康センター側の人道橋を拡幅し裏側からも車が入れるようにする。 新築時に配慮 エアコンを完備する 職員駐車場は市民健康センター側に移設する</p> <p>20 図23は現在の状況であり、10年後、20年後、30年後を見据えた時、自動車で来られる患者は必ず減少します。高齢者の免許返納推進の中で自動車で来院は無理になります。公共交通機関かタクシーなどに頼る傾向になると予想されます。更に駅から遠い所に病院が建設されたら年金生活者が困ります。病院代プラス交通費がかかります。 ですから岩見沢駅からできるだけ近い所に病院建設を希望します。</p> <p>21 立地条件は交通アクセスの利便性を最重要とすべき。 2020年2月の岩見沢市の高齢化率35.74%、2030年推計では高齢化率が40%を超える。それ故、市内各地から病院へはバス路線1本で到着する位置が最適です。 それ故、現在地が良いと考えられる。狭い場合は周辺の買収を考える 現在地より良い場所があればそれもよしと考える。その場合は旧中央小学校跡地周辺を買収して土地を広げる。</p>	<p>●新病院のコンセプトに掲げておられますとおり、新病院においては質の高い急性期医療の提供を維持・強化することはもとより、南空知圏域住民の生活的価値（QOL）を実現することが重要であると考えております。</p> <p>●駐車場の移設や橋の拡幅などのご提案をいただきましたが、施設の狭あい化や快適な療養環境の確保など現在の市立総合病院が抱える様々な課題を解決するためには、現在地での建て替えは厳しいことから、建設候補地の選定方針に基づき複数の候補地を選定し検討・評価していきたいと考えております。</p> <p>●外来・入院患者満足度調査の結果、約7割の方が自動車で来院しているという状況ですが、高齢化の進展に伴い今後は公共交通機関を利用した来院数は増加していくものと予測されます。 そのため、来院される方にとって交通アクセスの良い利便性を建設候補地を選定するにあたっての評価項目の一つとしているところですので、いただいたご意見も含めて、基本計画策定段階で検討してまいります。</p> <p>●同上</p>

※「意見・提案・感想等」については、原則として原文のまま掲載しています（明らかな誤字等と判断されるものを除く。）。

新岩見沢市立総合病院建設基本構想（素案）に対する意見募集（パブリックコメント）結果

(5/5ページ)

人	件	意見・提案・感想等	市の考え方
1 1	2 2	高齢者にとって病院までの交通の問題があります。 免許の返納も考える年齢となるとバスの充実した地域に建設されることを考えていただきたい。	●建設候補地の選定にあたっては、交通アクセスなどの利便性を評価項目の一つとしているため、いただいたご意見も参考として今後検討を進めてまいります。
1 2	2 3	新聞やテレビで毎日のように新型コロナウイルスについて報道されていますが、感染症に対する医療体制が十分でないという話も出ています。 もし自分になったときに病院が受け入れてくれないということがあるかと思うと心配になりますが、総合病院では新型コロナのような感染症の体制は十分なのでしょうか。	●総合病院では、南空知医療圏で唯一、病床数4床を有する第2種感染症指定医療機関として北海道から指定を受け、感染症への対応にあたっています。 現在の感染症病床は、主に軽症患者の対応に限られていることから、感染症対策に必要な設備や病床数等について基本計画の中で検討したいと考えています。

※「意見・提案・感想等」については、原則として原文のまま掲載しています（明らかな誤字等と判断されるものを除く。）。